

# パブリック・バンク(PUBM)

2018/12期3Q(1-9月)に貸出残高が2017/12期末比  
4.4%増、通期ガイダンスのROE目標は14-15%

マレーシア | 銀行 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG PBK:MK | REUTERS PUBM.KL

- 2018/12期3Q(1-9月)は、税引前利益が同2.9%増の53.1億MYR、純利益が同5.0%増の41.9億MYR。経費率は33.0%と前年同期から0.2%悪化したものの、2017/12期の産業平均を大幅に下回った。
- 住宅ローン、商用不動産向け融資、自動車ローンなどが堅調に推移し、貸出残高は2017/12期末比4.4%増の3,145億MYRと伸びた。
- 通期会社計画は、ROEが14-15%、減損債権比率1%未満、経費率が33-34%、貸出残高が前期比5%増、預金残高が前期比5%増である。

## What is the news?

10/25発表の2018/12期3Q(1-9月)は、税引前利益が同2.9%増の53.1億MYR、純利益が同5.0%増の41.9億MYRとなった。ROEは14.7%と前年同期の15.8%から低下した。住宅ローン、商用不動産向け融資、自動車ローンなどが堅調に推移し、純金利収益が同2.3%増56.54億MYRとなった。純金利マージンは2.16%と前年同期の2.24%から低下した。非金利収益は同横ばいの16.84億MYR。ユニット投資信託事業、銀行間取引、外国為替業務などが牽引したものの、金融商品評価損益が同45.2%減と落ち込んだ。経費率は33.0%と前年同期の32.8%から0.2%悪化したものの、2017/12期の産業平均の44.8%を大幅に下回っている。セグメント別利益は、構成比で51%を占めるリテール業務(個人・中小企業向け)が同0.8%増の27.33億MYR、債券(国債)業務が同6.2%増の5.58億MYR、ファンドマネジメント業務が同5.3%増の5.09億MYR、海外業務が同0.4%減の5.03億MYR、企業融資業務が同5.7%減の3.84億MYR、割賦販売業務が同17.0%減の2.40億MYR、投資銀行業務が同9.5%減の3,910万MYR、その他が同71.4%増の3.43億MYRとなった。

貸出残高は2017/12期末比4.4%増の3,145億MYR、預金残高は同6.5%増の3,349億MYRとなった。減損債権比率は0.5%と前年同期から横ばい。2018/8の産業平均の1.6%は大幅に下回っている。債権損失カバーレージは110.2%と高水準を維持。法定責任準備金を含むと235.8%だった。安全性の指標はバーゼルIIIベースで、普通株式自己資本比率が12.6%、Tier1自己資本率が13.2%、総自己資本比率が15.8%だった。

## How do we view this?

同社はマレーシア経済について、2018年上半期のGDP成長率が4.9%に落ち込むなど厳しい環境が続いており短期的には減速傾向が続くと見ている。ただ、長期的には成長軌道に乗っており、金融システムも成長を支えるための弾力性を維持しているという。通期会社計画は、ROEが14-15%、総自己資本比率が13%超、減損債権比率1%未満、経費率が33-34%、貸出残高が前期比5%増、預金残高が前期比5%増。個人・中小企業向け金融をコアフォーカス分野とし、住宅ローンや自動車ローンに注力する方針。通期市場予想は、当期利益が前期比3.8%増の56.80億MYR。

## 業績推移

※参考レート 1MYR=27.03円

事業年度	2015/12	2016/12	2017/12	2018/12F	2019/12F
純利益(百万MYR)	5,062	5,206	5,470	5,680	5,978
EPS(MYR)	1.31	1.35	1.42	1.47	1.55
PER(倍)	19.04	18.47	17.56	16.97	16.09
BPS(MYR)	8.09	8.86	9.68	10.46	11.30
PBR(倍)	3.08	2.81	2.58	2.38	2.21
配当(MYR)	0.56	0.58	0.61	0.64	0.68
配当利回り(%)	2.25	2.33	2.45	2.57	2.73

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(MYR) **0.64** (予想はBloomberg)  
終値(MYR) **24.94** 2018/11/26

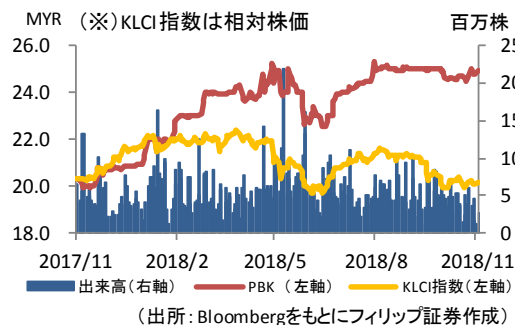
## 会社概要

1966年にTeh Hong Piowによって設立された大手商業銀行グループ。個人向け金融、イスラム金融、投資銀行業務、株式ブローカー業務、信託業務、株主名簿管理業務、ユニット投資信託事業、保険商品の販売など幅広い金融サービスを手掛ける。加えて、デジタル・バンキングサービスも拡張しており、同社のオンラインサイト「PBe」やモバイルアプリ「PB engage」を通じてキャッシュレス決済などを提供している。消費者、零細企業(SMEs)向け金融事業、ユニット投資信託事業ではマーケットで主導的なポジションを築いている。

マレーシア国内では259の支店と2,000超のATMなどセルフサービス拠点を展開。海外では香港の79支店のほか、中国に4支店、カンボジアでは30支店、ベトナムに13支店、ラオスに4支店、スリランカに3支店を展開する。

## 企業データ(2018/11/27)

ベータ値	0.79
時価総額(百万MYR)	96,199
企業価値=EV(百万MYR)	-
3ヵ月平均売買代金(百万MYR)	122.9



## 主要株主(2018/11)

株主	(%)
1.Consolidated Teh Holdings Sdn Bhd	22.78
2.Kumpulan Wang Simpanan Pekerja	12.09
3.ステート・ストリート	3.13

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

## アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

+81 3 3666 6980

hiroki.ihara@phillip.co.jp

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>  
本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。